

財政状況をよりわかりやすく

泉佐野の財政

～令和4年度決算～

市長公室
行財政管理課



【 もくじ 】

① 財政ってなんだろう？		2 ページ
② 決算はどうなってるの？		
1.会計の種類		3 ページ
2.普通会計決算の概要		4 ページ
3.歳入決算の内訳		5 ページ
4.歳出決算の内訳		6 ページ
5.主な事業		7 ページ
6.各会計の決算状況		7 ページ
7.類似団体との比較		8 ページ
8.泉佐野市の家計簿		9 ページ
③ 借金はどれくらいあるの？		10 ページ
④ どうして借金をするの？		11 ページ
⑤ 貯金はどれくらいあるの？		12 ページ
⑥ 財政状況は大丈夫なの？		14 ページ
(参考) いろいろな比較		15 ページ

①財政ってなんだろう？

地方公共団体は、子育て世帯・高齢者・障がい者に対する支援、ごみの収集・運搬、道路・公園・下水道の整備、小・中学校・こども園の運営など、さまざまな行政サービスをおこなっています。

これらのサービスを計画的におこなうために、毎年度（４月～翌３月）

1. 使えるお金がどのくらい集まるかを予測したうえで、その使いみちを決め、

予算

2. 予算の範囲内で行政サービスをおこない、

予算の執行管理

3. 最終的にお金がどのくらい集まり、どのように使われたかを確認します。

決算

この一連の流れを『財政』といいます。

予算

予算の執行管理

決算

決算をふりかえり、評価を予算に反映させます

②決算はどうなってるの？

1.会計の種類

会計とは、市のお財布のことです。事業の内容に応じてお金を分けて管理するために泉佐野では『一般会計』『特別会計』『企業会計』の3種類のお財布があります。

一般会計

税金などを財源として、福祉、子育て、教育、道路や公園の整備など、わたしたちの暮らしやまちづくりに必要な基本的な行政サービスをおこなうお財布です。

特別会計

保険料や特定の収入によって事業をおこない、その収支を明確にするために一般会計とは別に設置した会計です。
国民健康保険事業や介護保険事業などがあります。

企業会計

民間企業と同じように事業収益によって運営している会計です。
水道事業や病院事業などがあります。

では、次のページから令和4年度の決算内容を見ていきましょう。

2. 普通会計※1 決算の概要

令和4年度の普通会計決算は

入ったお金（歳入）は、768億1,889万円

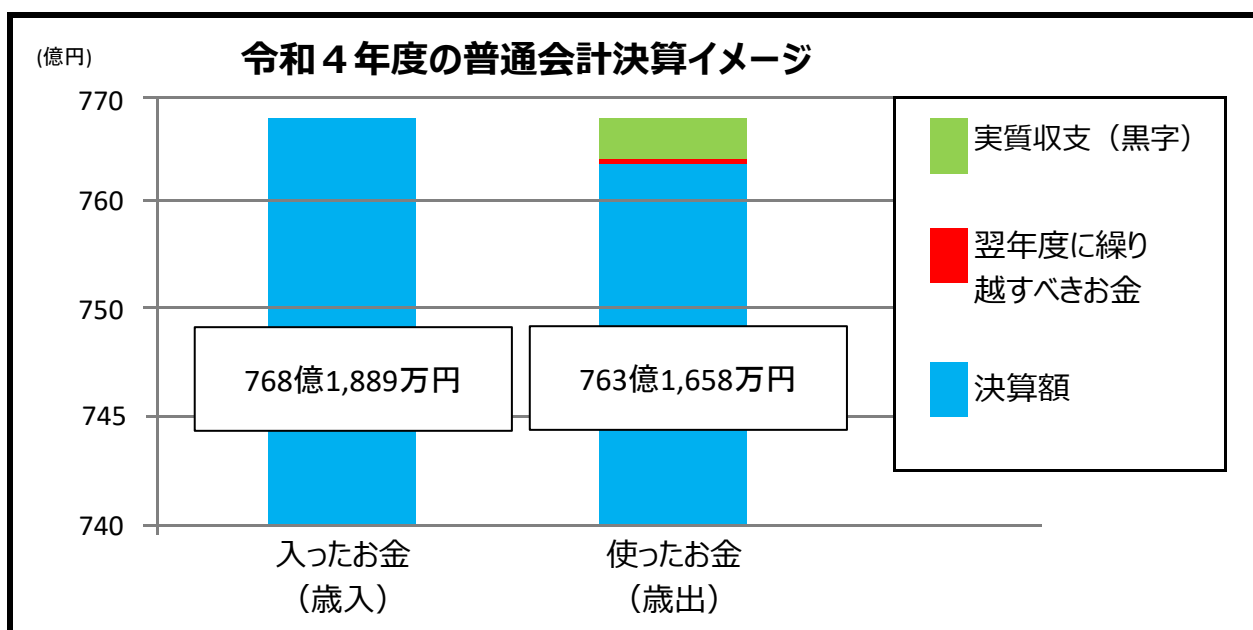
使ったお金（歳出）は、763億1,658万円 でした。

また、

残りのお金（形式収支 = 歳入 - 歳出）は、5億231万円で

そのうち9,357万円は、令和4年度中に完了しなかった事業のための
費用として翌年度に持ち越して使います。

結果、4億874万円が残り、令和4年度決算は黒字（実質収支）となりました。



※文中・表中の金額・比率は、原則として単位未満を四捨五入して表示していますので、合計額と内訳の計が一致しないことがあります。

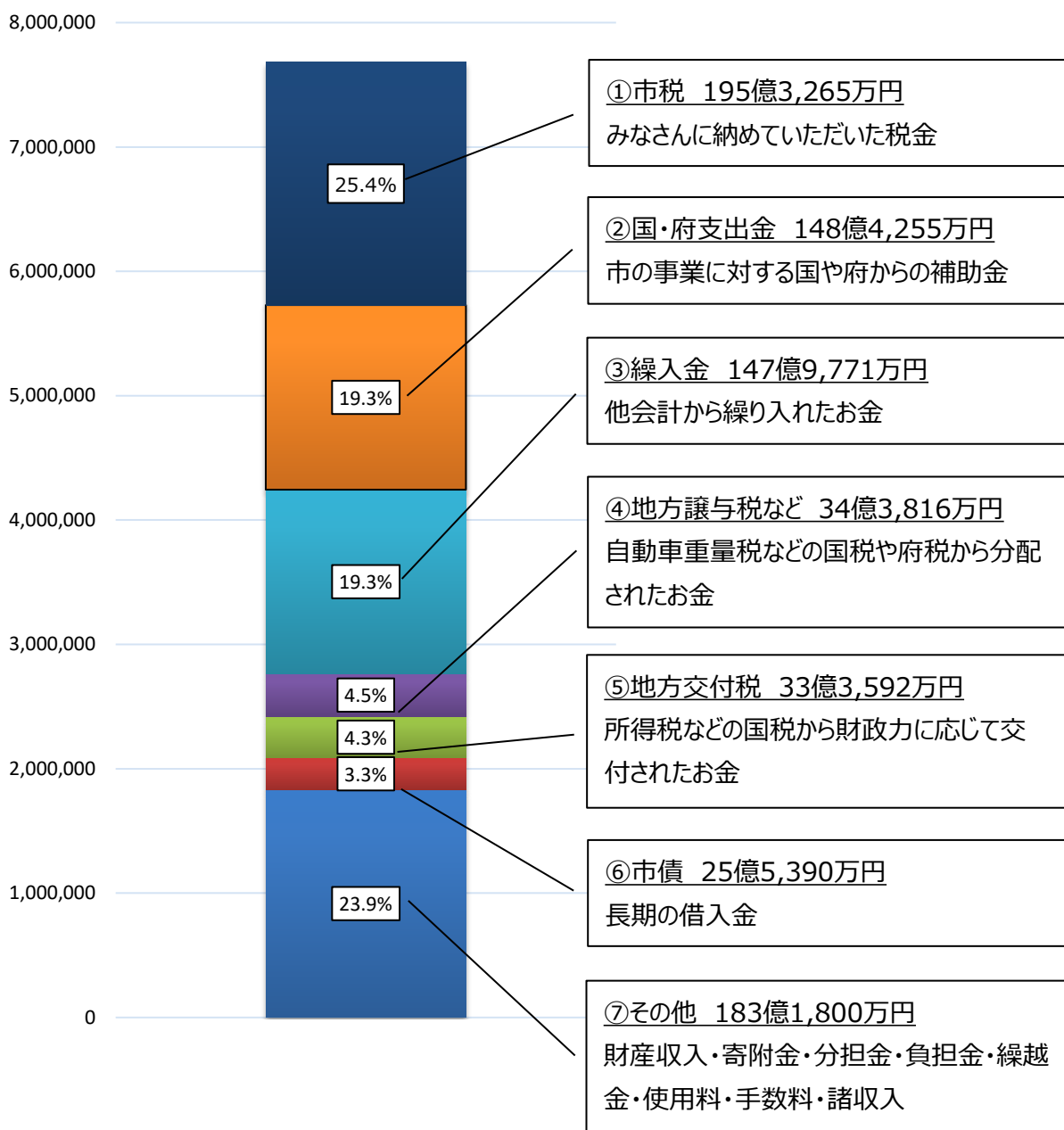
※1【普通会計】

全国の自治体の財政状況を比較するために用いられる地方財政統計上の統一的な会計区分。

泉佐野市では、一般会計、公共用地先行取得事業特別会計、病院事業債管理特別会計、りんくう公園事業特別会計を再構築したのになります。

3.歳入決算の内訳

入ったお金(歳入)768億1,889万円の内訳



市民1人あたりにすると...

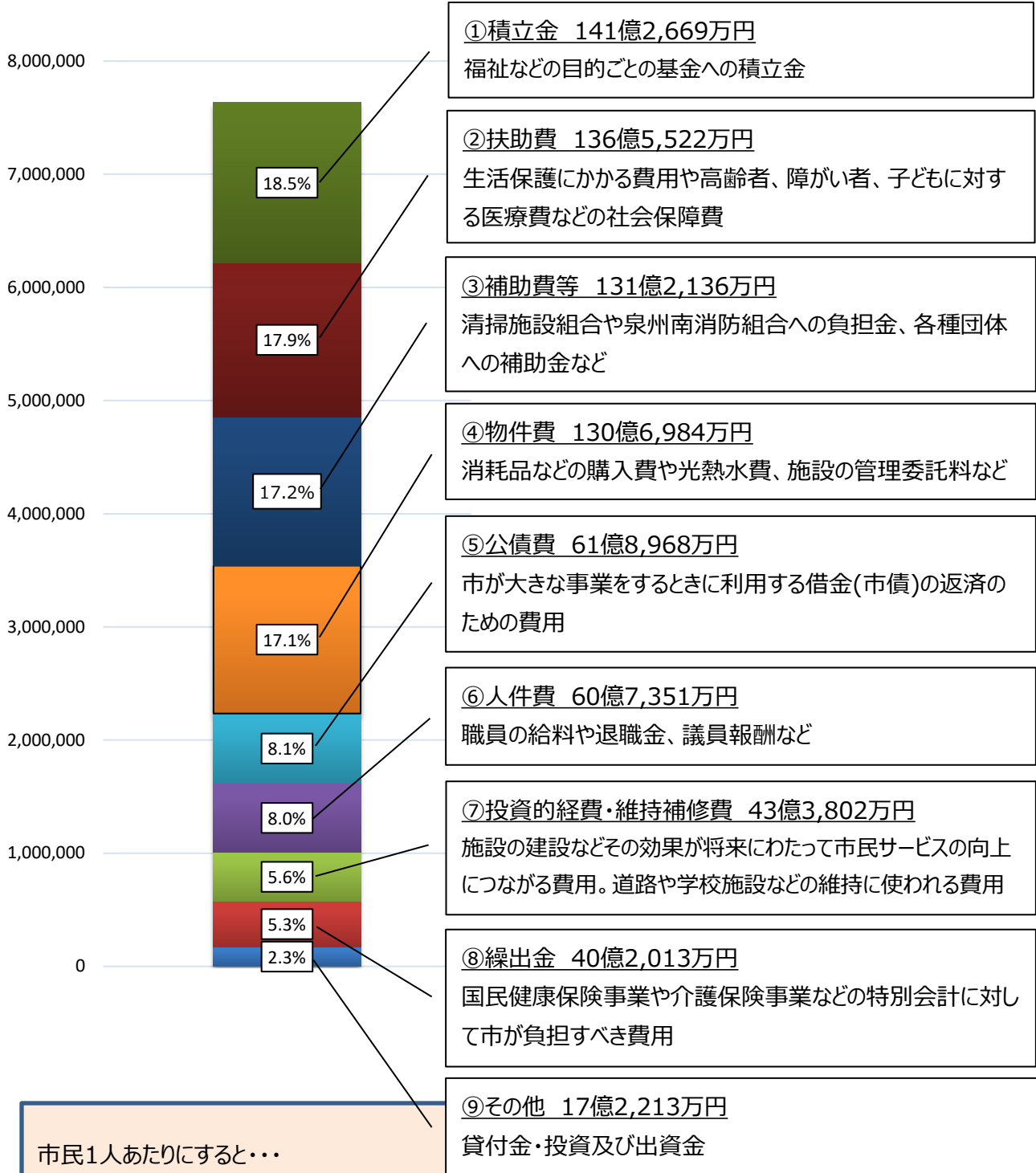
歳入 778,409円

・市税	197,925円
・国庫支出金、府支出金	150,400円
・市債	25,879円
・その他（繰入金など）	404,205円

固定資産税	103,621円
市民税	64,458円
都市計画税	15,196円
市たばこ税	8,910円
軽自動車税	2,929円
入湯税	109円
法定外普通税	2,702円

4.歳出決算の内訳

使ったお金(歳出)763億1,658万円の内訳



市民1人あたりにすると...

歳出 773,319円

・総務費 275,319円	・教育費 56,732円	・議会費 2,773円
・民生費 214,760円	・土木費 49,517円	・その他 (労働費など)
・公債費 62,726円	・商工費 30,705円	4,517円
・衛生費 62,201円	・消防費 14,069円	

5.主な事業

令和4年度は学校プールや各学校図書室の整備をおこないました。

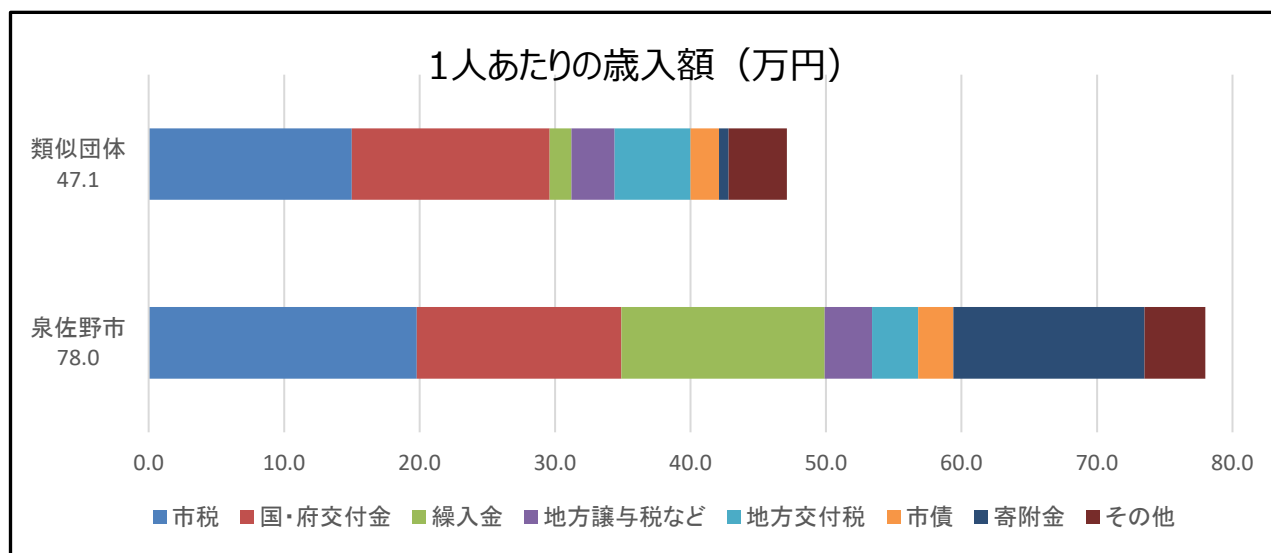
- ・小中学校給食無償化の継続実施
- ・小中学校就学奨励認定基準の拡大
- ・鶴原団地住宅(8～15棟)建替
- ・泉佐野土丸線の整備
- ・さのぼポイント還元キャンペーンの実施
- ・市内事業者、農業者、漁業従事者への支援金給付



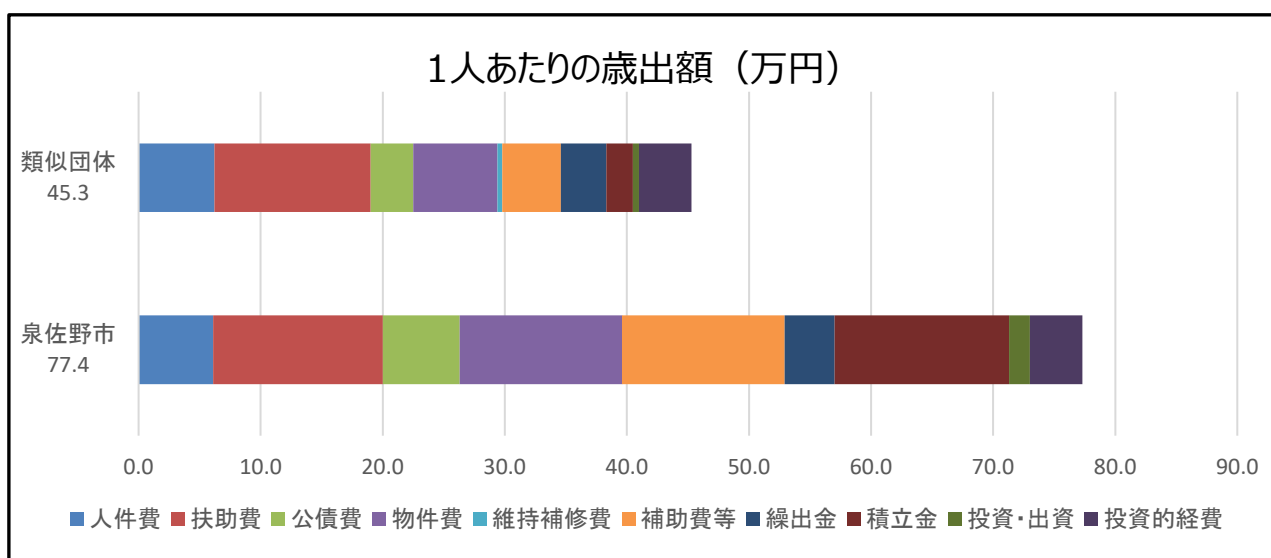
6.各会計の決算状況

	入ったお金 (歳入)	使ったお金 (歳出)	余ったお金 (形式収支)	翌年度へ 繰り出す べき財源	(実質収支)
一般会計	762億3,801 万円	757億3,571 万円	5億231 万円	9,357 万円	4億874 万円
国民健康保険事業特別会計	113億1,245 万円	107億5,343 万円	5億5,902 万円	0万円	5億5,902 万円
公共用地先行取得事業特別会計	19億9,761 万円	19億9,761 万円	0万円	0万円	0万円
介護保険事業特別会計	98億945 万円	96億5,746 万円	1億5,199 万円	0万円	1億5,199 万円
後期高齢者医療事業特別会計	14億2,251 万円	14億1,488 万円	763 万円	0万円	763 万円
病院事業債管理特別会計	18億9,242 万円	18億9,242 万円	0万円	0万円	0万円
りんくう公園事業特別会計	4億9,615 万円	4億9,615 万円	0万円	0万円	0万円

7.類似団体※2 との比較



類似団体と比較すると、市税・繰入金・寄附金の割合が多くなっています。
ふるさと納税の影響が大きい結果となっています。



類似団体と比較すると、物件費・補助費等・積立金の割合が多くなっています。
積立金の割合が多いのは、こちらもふるさと納税の影響が大きいです。

※2【類似団体】

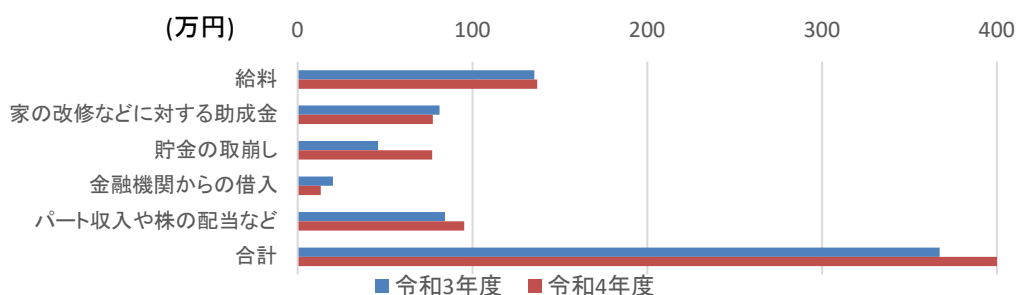
全国の市町村を「人口」と「産業構造」の2要素の組み合わせにより分類し、同じ類型に属する団体の総称。類似団体との比較では、原則「類似団体の平均」を表しています。また、類似団体との比較時の「1人あたり」の額については、前ページに出てきた「市民1人あたりにすると…」とは人口算出の基準日が異なるため、若干の誤差があります。

8. 泉佐野の家計簿

泉佐野の普通会計決算額を、令和4年度の年収を400万円の世帯に置き換えてみました。

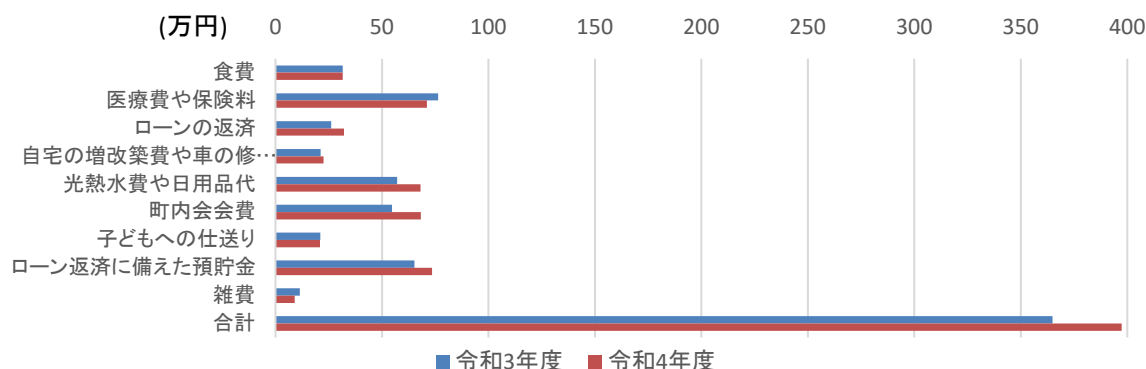
(単位:万円)

収 入	令和3年度	令和4年度	増減
給料（市税・地方交付税・地方譲与税）	135	137	2
家の改修などに対する助成金（国・府支出金）	81	77	▲ 4
貯金の取崩し（繰入金）	46	77	31
金融機関からの借入（市債）	20	13	▲ 7
パート収入や株の配当など（使用料・手数料・財産収入など）	84	95	11
合 計	367	400	33



(単位:万円)

支 出	令和3年度	令和4年度	増減
食費（人件費）	32	32	0
医療費や保険料（扶助費）	76	71	▲ 5
ローンの返済（公債費）	26	32	6
自宅の増改築費や車の修理代など （投資的経費・維持補修費）	21	23	1
光熱水費や日用品代など（物件費）	57	68	11
町内会会費など（補助費等）	55	68	14
子どもへの仕送りなど（繰出金）	21	21	▲ 0
ローン返済に備えた預貯金（積立金）	65	74	8
雑費（貸付金・投資及び出資金）	11	9	▲ 2
合 計	365	397	33

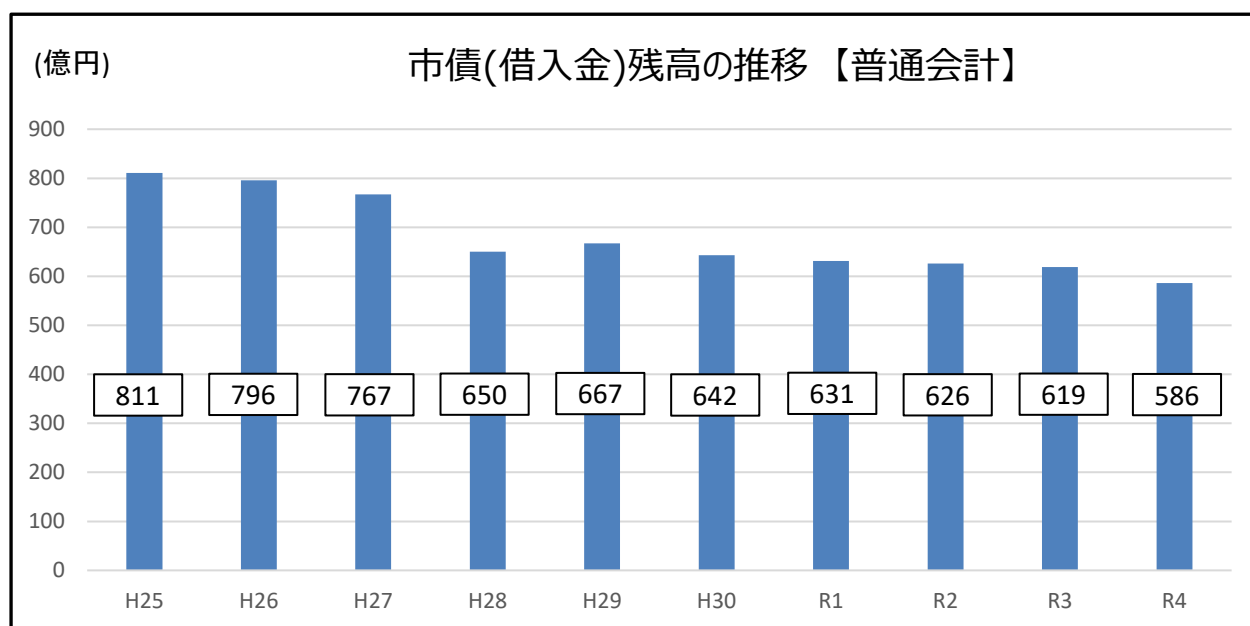


③借金はどれくらいあるの？

泉佐野の普通会計の借金は、令和4年度末時点で、約586億円あります。

これは、市民1人あたりに置き換えると、約59万3,000円(臨時財政対策債※3を除くと約44万4,000円)になります。

また、国の代わりの借金である臨時財政対策債の残高は令和3年度と比べ減少しています。



泉佐野は中期財政運営方針を作成し、地方債残高の縮減に努めています。

※3【臨時財政対策債】

国が地方交付税※4を交付するにあたり、国の財政状況が良くないために準備しきれないお金の一部を、地方自治体自らに市債を発行(借入)させる制度です。その返済(償還)に必要なお金は、後年度に国から全額地方交付税で措置されますので、地方交付税の代わりとなるお金といえます。

※4【地方交付税】

地方公共団体間では、都心部と過疎地では人口・企業数等に大きな差があるなど、毎年入ってくるお金にバラつきがあります。その中で、どの地域に住む人にも一定の行政サービスを提供できるように、国が集めた税金の一定割合の額等を、国が地方公共団体に交付する制度です。

④どうして借金をするの？

地方債※5 は、例えば学校や公民館を建てると、その後、何十年も使っていくことになります。それを、建てたときの世代の人たちだけで、このお金を負担するのは不公平だ、という考え方があります。建てる時借金をして分割払いにすることで、将来の人たちにも公平に負担してもらっているのです。

令和4年度は市営鶴原団地住宅(8～15棟)の建替事業にも地方債を発行しています



また、建物の建設や道路の整備にはお金がたくさん必要になるため、もし、一度に払ってしまうと、その年度はこども園や公共施設の運営やごみの収集など、他のことができなくなってしまうかもしれないため、借金をしています。



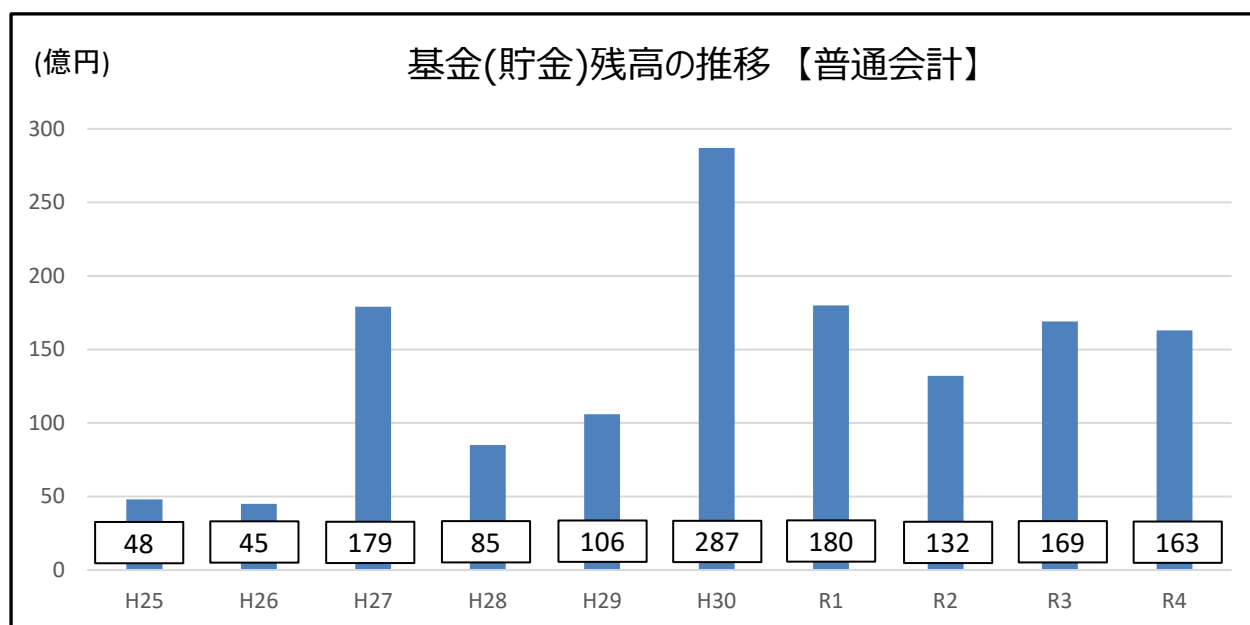
『借金』と聞くと「赤字の穴埋め」というイメージがあるかもしれませんが。ここでいう借金は基本的に建物や道路などを整備するためのものです。毎月の生活費のために借りるのではなく、住宅ローンのような、何年も使っていくような大きな買い物をするときだけお金を借りています。

※5【地方債】

地方公共団体が第三者から資金の借入れを行い、翌年度以降の収入をもって順次償還する条件で負担する債務。

⑤貯金はどれくらいあるの？

市の貯金のことを『基金』といいます。泉佐野の基金（貯金）は令和4年度末時点で約163億円あります。これは、市民1人あたりに置き換えると、約16万5,000円になります。

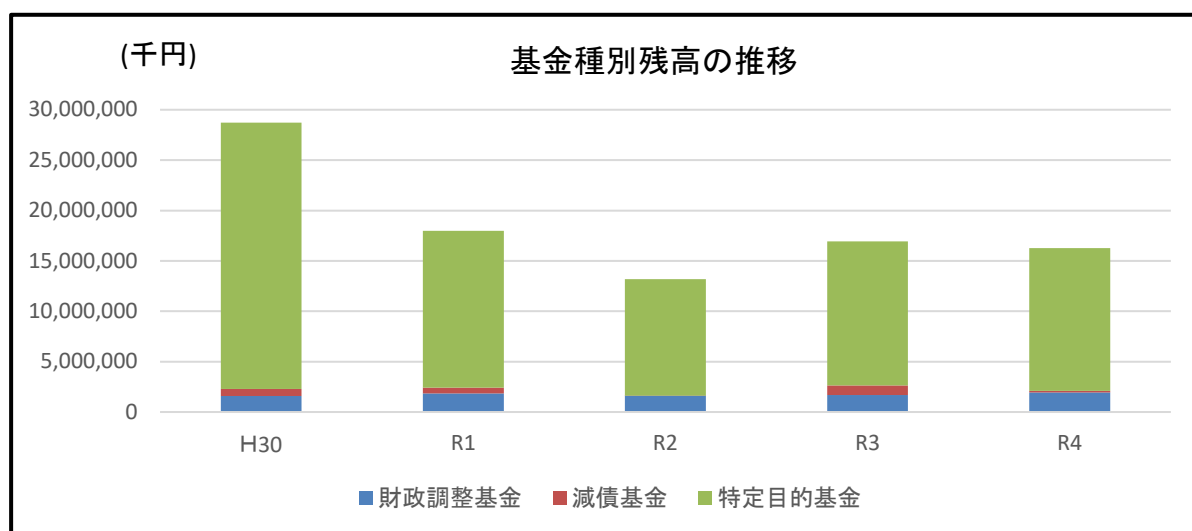


泉佐野には大きく分けて、次の3つの基金があります。

1.財政調整基金	年度間の財源の不均衡を調整し、市財政の健全な運営に使うためのお金
2.減債基金	将来にわたる市財政の健全な運営のため、地方債の返済に必要な財源を確保するためのお金
3.特定目的基金	市の条例に定めた特定の目的を計画的に実施するためのお金。主なものとして、教育振興基金・福祉基金などがあります。

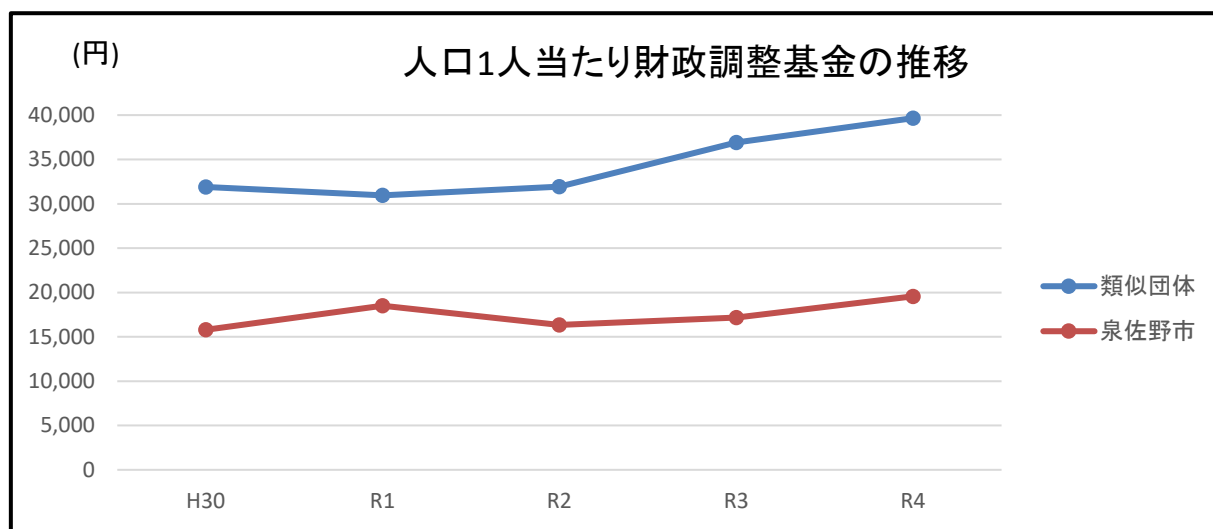
令和4年度の主な使途

- ★教育振興基金 ⇒ 小中学校給食無償化・小中学校図書室整備
- ★福祉基金 ⇒ 新生児臨時特別給付金・子どもギフトカード支援



(千円)

	H 30	R1	R2	R3	R4
財政調整基金	1,589,982	1,859,201	1,627,949	1,695,999	1,928,050
減債基金	685,923	565,537	2,741	935,600	159,260
特定目的基金	26,443,470	15,555,441	11,563,482	14,297,758	14,172,046
合計	28,719,375	17,980,179	13,194,172	16,929,357	16,259,356



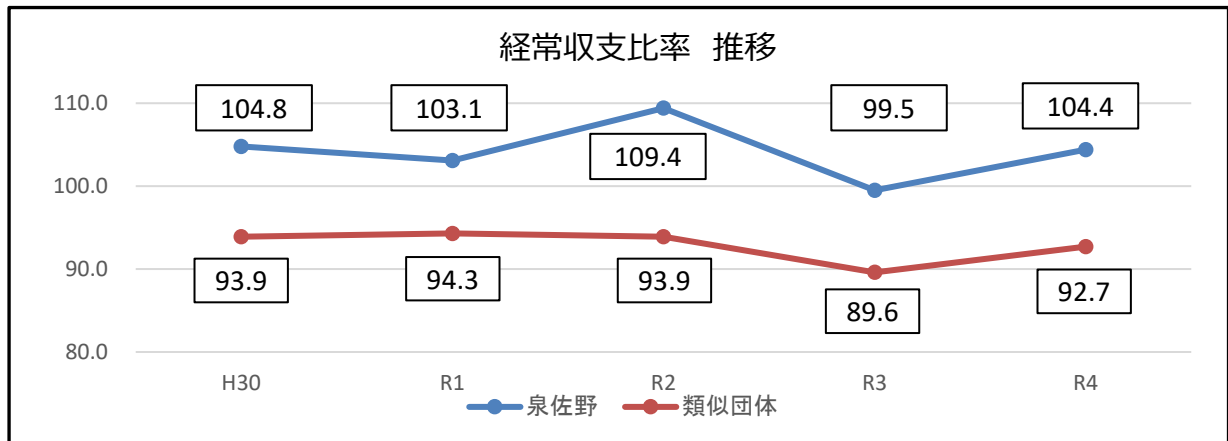
(円)

	H 30	R1	R2	R3	R4
類似団体	31,884	30,950	31,924	36,921	39,656
泉佐野市	15,789	18,514	16,335	17,159	19,565

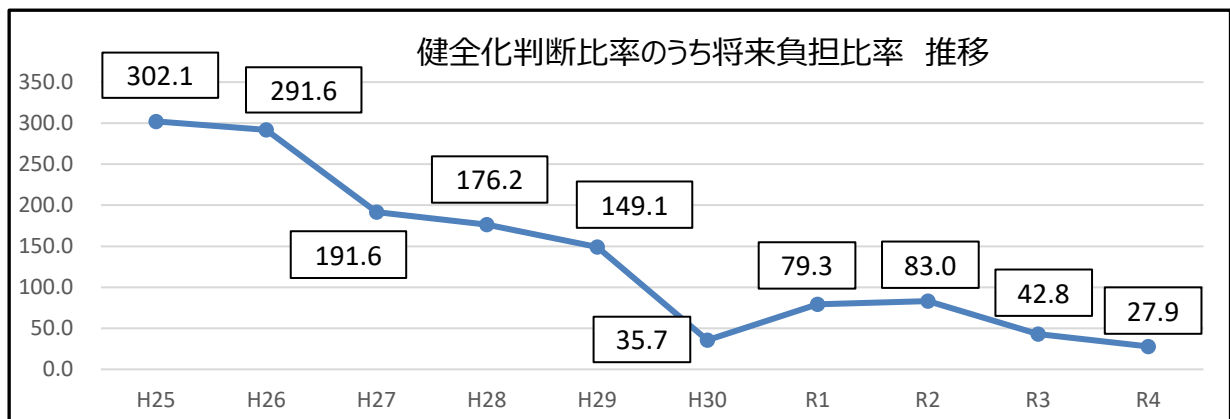
令和4年度末の基金(貯金)残高は前年度に比べ約6億7千万円減少しています。これは減債基金の取崩し(借金の繰上げ返済)が主な理由です。財政調整基金は類似団体と比べるとまだまだ少ないので、しっかり貯金する必要があります。

⑥財政状況は大丈夫なの？

令和4年度の決算状況をあわらす数値として、『経常収支比率※6』と『健全化判断比率※7』という指標をみましょう。



令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で上下していますが、令和4年度は平成30年度並みの数値となっています。



※6【経常収支比率】

毎年入ってくるお金が、臨時的なものを除いてどのくらい義務的な経費に使われているかを示す割合です。この割合が高いほど、市が自由に使うことができるお金が少ないということになります。

※7【健全化判断比率】

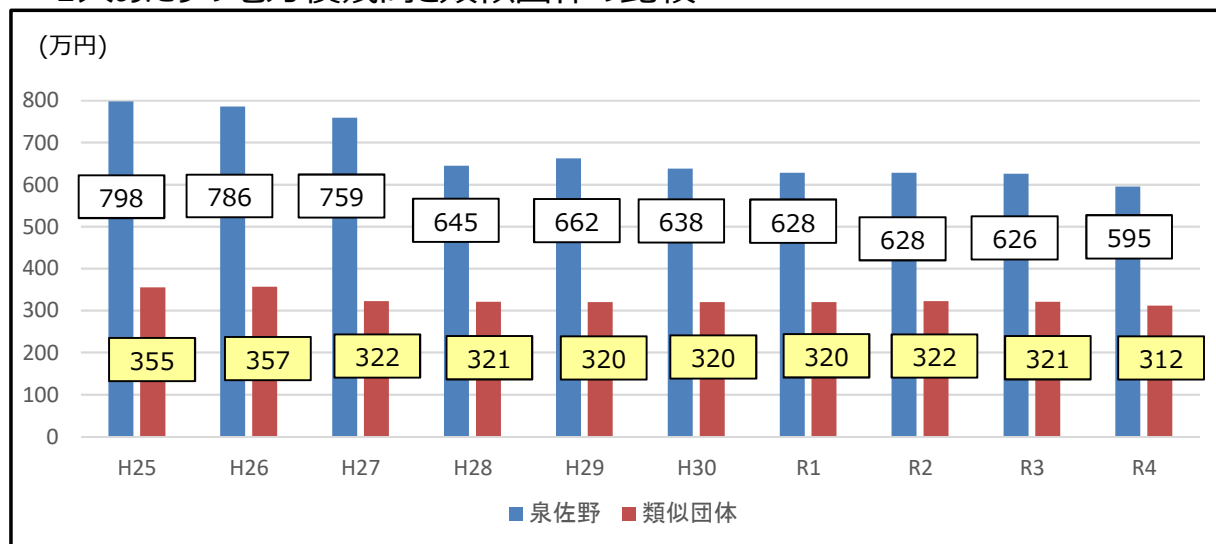
市町村の財政状況を客観的にあらし、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するための、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの指標の総称です。

※8【将来負担比率】

将来の負担が大きすぎないかを判断するための指標です。年間の収入の規模に対して、地方債などの地方公共団体が抱える負債の大きさ(将来にわたって支払うことが見込まれる費用)の割合。

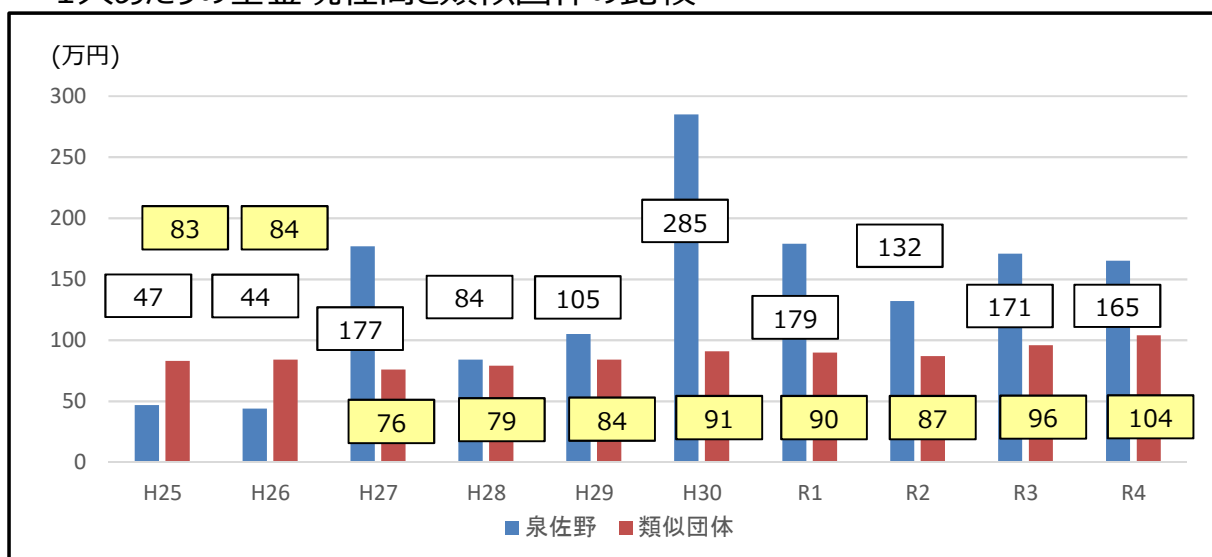
(参考) いろいろな比較

1人あたりの地方債残高と類似団体の比較



類似団体と比べると倍近くの地方債残高があることがわかります。引き続き残高縮減に努めていきます。

1人あたりの基金現在高と類似団体の比較



類似団体はあまり変化がないのに対し、泉佐野はふるさと納税の影響でかなり上下しています。